



■ インターン生の報告書

【鹿児島大学法文学部3年 久保 かれん】

今回私は、一週間の錦江町地域づくりインターンに参加し、農業体験や町内巡りなど普段大学やサークルではできなかったことをたくさん経験しました。その中で、錦江町には美味しいものや観光名所がたくさんあり、魅力的な場所であることを知ることができました。

また、同時に地域の方とお話をさせていただく中で、特に宿利原小学校、宿利原地区の抱える問題について改めて考える機会になりました。そして私たちがこのような体験をできたのも地域の方やNPOのみなさんの協力があるからこそということにも気づきました。宿利原はイベントも多く、子供からお年寄りまで、地域の皆さんの結び付きの強さを感じました。寺子屋塾は今年の7月に始まったばかりですが、今後は所属するサークルFree Spotのメンバーとして子供たちだけでなく、地域の方々とも交流をし、たくさんの方にこの活動を知ってもらうことで宿利原小学校の存続に向かっていけたらと思いました。



【法政大学2年 沼崎 雄太】

私は地域づくりインターンの会の一員として2週間錦江町に滞在し貴重な経験をさせていただきました。錦江町に来て最初に驚いたことは自分が生活している環境との差の激しさです。目の前に山々が広がっている風景自体が私には新鮮なものでした。そんな環境の変化に加え、初めての民泊ということもあり緊張と不安で満ちていました。しかし2週間お世話になった厚ヶ瀬さん夫妻はとても優しい方でまるで自分の家にいるのではないかと感じるくらい安心して過ごすことができました。2週間の中で一番思い出に残っていることは宿利原小学校の子どもたちと屋外研修に出掛けたことです。その経験で教師の大変さ、働くことの大変さ、気配りや目配りを心がけることの重要性を学びました。もちろん2週間で経験したこと全てが私の思い出です。最後になりますが、温かく迎えてくれた錦江町のみなさんそして厚ヶ瀬さん本当にお世話になりました。また錦江町へ遊びに行きます。



【鳥取大学3年 杉田 大輝】

私は今までにこのような経験をしたことがない。そしてこのような感激をしたことがない。振り返るとあつという間ではあったが、とても充実した2週間であった。まず感動したことは錦江町で会う人すべての「心の温かさ」である。私を受け入れていただいたご家族は、私を息子同様に扱っていただき、時に熱く語り合い、時に面倒を良く見ていただいた。また、宿利原小学校の子どもたちには元気とたくましさに驚いた。1年生から6年生までの幅広い年も関係なく、楽しく遊んでいた。そして上級生が下級生を思いやり、面倒を見るところはまさしく「心の温かさ」なのだ実感した。

そしてこんな「台風」に今まで経験したことがあったらどうか。台風のおかげで予定が変更することが多々あったが、農業の台風対策やその現状など知り、経験できたことはとても心に残っている。この激動の2週間でここで語りつくすことができないほど経験することができたことは、必ず私の将来に役立つのだと思う。そして、錦江町の皆様のおかげでこんなに学び、経験することができたことは感謝しても足りない。またここに戻ってきたいと強く思う。



【鹿児島大学法文学部3年 相良 美望梨】

今回、錦江町の地域づくりインターンで様々な体験をさせていただきました。私が育った地域は、農家の方が多く、家の周りには田畑が多くあります。そのせいか、小学校でも稲作や野菜づくりなどがありました。小学生の時は、農業体験をただ『楽しいもの』と認識していました。しかし、大学生になってから体験し、お話を聴く中で、自分の地域の農家の方々は今どのような状況なのかなどを考えるきっかけとなりました。実際にインターンの後、祖父と話し、自分の知らなかった地域の現状について知ることができ、良かったと思います。地域づくりは、様々な人が関わって成り立っています。一部の人が頑張っても成し遂げることは難しく、協力してくれる人がいないと成り立たないことがこの一週間で分かりました。

最後になりましたが、インターンをサポートしてくださった皆さん、大変お世話になりました。皆さんがサポートしてくださったおかげで、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。また錦江町に行かせていただきます。

